

# ノーベル生理学・医学賞

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

[ノーベル賞](#) > [ノーベル生理学・医学賞](#)

**ノーベル生理学・医学賞**（ノーベルせいりがく・いがくしょう）は**ノーベル賞**6部門のうちの1つ。「（動物）[生理学](#)及び[医学](#)の分野で最も重要な発見を行なった」人に与えられる。選考は**カロリンスカ研究所**のノーベル賞委員会が行う。

## 歴代受賞者 [編集]

年度	受賞者名	国籍	受賞理由
1901年	エミール・アドルフ・フォン・ベーリング Emil Adolf von Behring	<span><span><span></span></span><span> </span></span> ドイツ帝国	血清療法の研究、特にジフテリアに対するものによって、医学の新しい分野を切り開き、生理学者の手に疾病や死に勝利しうる手段を提供したこと
1902年	ロナルド・ロス Ronald Ross	<span><span><span></span></span><span> </span></span> イギリス	マラリアの研究によってその感染経路を示し、疾病やそれに対抗する手段に関する研究の基礎を築いたこと
1903年	ニールス・フィンセン Niels Ryberg Finsen	<span><span><span></span></span><span> </span></span> デンマーク	疾病の治療法への寄与、特に尋常性狼瘡への光線治療法によって、医学の新しい領域を開拓したこと
1904年	イワン・パブロフ Ivan Petrovich Pavlov	<span><span><span></span></span><span> </span></span> ロシア連邦	消化生理の研究により、その性質に関する知見を転換し拡張したこと
1905年	ロベルト・コッホ Robert Koch	<span><span><span></span></span><span> </span></span> ドイツ帝国	結核に関する研究と発見
1906年	カミッロ・ゴルジ Camillo Golgi	<span><span><span></span></span><span> </span></span> イタリア王国	神経系の構造研究
	サンティアゴ・ラモン・イ・カハール Santiago Ramon y Cajal	<span><span><span></span></span><span> </span></span> スペイン	
1907年	シャルル・ルイ・アルフォンス・ラヴラン Charles Louis Alphonse Laveran	<span><span><span></span></span><span> </span></span> フランス	疾病発生における原虫類の役割に関する研究
1908年	パウル・エールリヒ Paul Ehrlich	<span><span><span></span></span><span> </span></span> ドイツ帝国	免疫の研究
	イリヤ・メチニコフ Ilya Ilyich Mechnikov	<span><span><span></span></span><span> </span></span> ロシア連邦	
1909年	エーミール・コッハー Emil Theodor Kocher	<span><span><span></span></span><span> </span></span> スイス	甲状腺の生理学、病理学および外科学的研究
1910年	アルブレヒト・コッセル Albrecht Kossel	<span><span><span></span></span><span> </span></span> ドイツ帝国	核酸物質を含む、タンパク質に関する研究による細胞化学の知見への寄与
1911年	アルヴァル・グルストランド Allvar Gullstrand	<span><span><span></span></span><span> </span></span> スウェーデン	眼の屈折機能に関する研究
1912年	アレクシス・カレル Alexis Carrel	<span><span><span></span></span><span> </span></span> フランス	血管縫合および臓器の移植に関する研究
1913年	シャルル・ロベール・リシェ Charles Robert Richet	<span><span><span></span></span><span> </span></span> フランス	アナフィラキシーの研究
1914年	ローベルト・バーラーニ Robert Bárány	<span><span><span></span></span><span> </span></span> オーストリア＝ハンガリー帝国	内耳系の生理学および病理学に関する研究
1915年	受賞者なし		
1916年	受賞者なし		
1917年	受賞者なし		
1918年	受賞者なし		
1919年	ジュール・ボードレ Jules Bordet	<span><span><span></span></span><span> </span></span> ベルギー	免疫に関する諸発見
1920年	アウグスト・クローグ Schack August Steenberg Krogh	<span><span><span></span></span><span> </span></span> デンマーク	毛細血管運動に関する調整機構の発見

1921年	受賞者なし		
1922年	アーチボルド・ヒル Archibald Vivian Hill	 イギリス	筋肉中の熱生成に関する発見
	オットー・マイヤーホフ Otto Fritz Meyerhof	 ドイツ	筋肉における乳酸生成と酸素消費の固定的関連の発見
1923年	フレデリック・バンティング Frederick Grant Banting	 カナダ	インシュリンの発見
	ジョン・ジェームズ・リチャード・マクラウド John James Richard Macleod	 イギリス	
1924年	ウィレム・アイントホーフェン Willem Einthoven	 オランダ	心電図の発見
1925年	受賞者なし		
1926年	ヨハネス・フィビゲル Johannes Andreas Grib Fibiger	 デンマーク	スピロプラ・カルシノーマの発見
1927年	ユリウス・ワグナー=ヤウレック Julius Wagner von Jauregg	 オーストリア	麻痺性痴呆に対するマラリア接種の治療効果の発見
1928年	シャルル・ジュール・アンリ・ニコル Charles Jules Henri Nicolle	 フランス	チフスに関する研究
1929年	クリスティアーン・エイクマン Christiaan Eijkman	 オランダ	抗神経炎ビタミンの発見
	フレデリック・ホプキンス Frederick Gowland Hopkins	 イギリス	成長促進ビタミンの発見
1930年	カール・ラントシュタイナー Karl Landsteiner	 オーストリア	ヒトの血液型の発見
1931年	オットー・ワールブルク Otto Heinrich Warburg	 ドイツ	呼吸酵素の特性および作用機構の発見
1932年	チャールズ・シェリントン Charles Scott Sherrington	 イギリス	神経細胞の機能に関する発見
	エドガー・エイドリアン Edgar Douglas Adrian	 イギリス	
1933年	トーマス・ハント・モーガン Thomas Hunt Morgan	 アメリカ合衆国	遺伝における染色体の役割に関する発見
1934年	ジョージ・H・ウィップル George Hoyt Whipple	 アメリカ合衆国	貧血に対する肝臓療法に関する発見
	ジョージ・リチャーズ・マイノット George Richards Minot	 アメリカ合衆国	
	ウィリアム・P・マーフィ William Parry Murphy	 アメリカ合衆国	
1935年	ハンス・シュペーマン Hans Spemann	 ドイツ	胚の発生における誘導作用の発見
1936年	ヘンリー・ハレット・デール Henry Hallett Dale	 イギリス	神経刺激の化学的伝達に関する発見
	オットー・レーヴィ Otto Loewi	 アメリカ合衆国 (  ドイツ  オーストリア出身)	
1937年	アルベルト・セント=ジェルジ Albert von Szent-Györgyi Nagyrapolt	 ハンガリー	生物学的燃焼過程、特にビタミンCおよびフマル酸の触媒作用に関する発見
1938年	コルネイユ・ハイマンス Corneille Jean François Heymans	 ベルギー	呼吸調節における静脈洞と大動脈機構の役割の発見
1939年	ゲルハルト・ドーマク Gerhard Domagk	 ドイツ	プロントジルの抗菌効果の発見

1940年	受賞者なし		
1941年	受賞者なし		
1942年	受賞者なし		
1943年	カール・ピーター・ヘンリック・ダム Henrik Carl Peter Dam	 デンマーク	ビタミンKの発見
	エドワード・アダルバート・ドイジー Edward Adelbert Doisy	 アメリカ合衆国	ビタミンKの化学的性質の発見
1944年	ジョセフ・アーランガー Joseph Erlanger	 アメリカ合衆国	個々の神経繊維の高度に分化された機能に関する諸発見
	ハーバート・ガッサー Herbert Spencer Gasser	 アメリカ合衆国	
1945年	アレクサンダー・フレミング Alexander Fleming	 イギリス	ペニシリンの発見、および種々の <b>伝染病</b> に対するその治療効果の発見
	エルンスト・ボリス・チェーン Ernst Boris Chain	 イギリス	
	ハワード・フローリー Howard Walter Florey	 オーストラリア	
1946年	ハーマン・J・マラー Hermann Joseph Muller	 アメリカ合衆国	X線照射による <b>突然変異</b> 体発生の発見
1947年	カール・コリ Carl Ferdinand Cori	 アメリカ合衆国 (  チェコ出身)	グリコーゲンの触媒的分解経路の発見
	ゲルティー・コリ Gerty Theresa Cori	 アメリカ合衆国 (  チェコ出身)	
	バーナード・ウッセイ Bernardo Alberto Houssay	 アルゼンチン	
1948年	パウル・ヘルマン・ミュラー Paul Hermann Müller	 スイス	多数の節足動物に対する <b>DDT</b> の接触毒としての強力な作用の発見
1949年	ヴァルター・ルドルフ・ヘス Walter Rudolf Hess	 スイス	内臓の活動を統合する <b>間脳</b> の機能組織の発見
	アントニオ・エガス・モニス Egas Moniz	 ポルトガル	ある種の精神病に対する <b>前額部大脳神経切断</b> の治癒的価値の発見
1950年	エドワード・カルビン・ケンダル Edward Calvin Kendall	 アメリカ合衆国	諸種の副腎皮質ホルモンの発見およびその構造と生物学的作用の発見
	タデウシュ・ライヒスタイン Tadeus Reichstein	 スイス (  ポーランド出身)	
	フィリップ・ショウォルター・ヘンチ Philip Showalter Hench	 アメリカ合衆国	
1951年	マックス・タイラー Max Theiler	 南アフリカ連邦	<b>黄熱</b> およびその治療法に関する発見
1952年	セルマン・ワクスマン Selman Waksman	 アメリカ合衆国 (  ウクライナ出身)	<b>結核</b> に有効な初の <b>抗生物質</b> である <b>ストレプトマイシン</b> の発見
1953年	ハンス・クレブス Hans Adolf Krebs	 イギリス (  ドイツ出身)	クエン酸回路の発見
	フリッツ・アルベルト・リップマン Fritz Albert Lipmann	 アメリカ合衆国 (  ドイツ出身)	<b>コエンザイムA</b> およびその中間代謝における重要性の発見
1954年	ジョン・フランクリン・エンダース John Franklin Enders	 アメリカ合衆国	種々の組織培地における <b>ポリオウイルス</b> の生育能の発見
	トーマス・ハックル・ウェーラー Thomas Huckle Weller	 アメリカ合衆国	

	フレデリック・チャップマン・ロ ビンス Frederick Chapman Robbins	 アメリカ合衆国	
1955 年	ヒューゴ・テオレル Hugo Theorell	 スウェーデン	酸化酵素の性質及び作用機序の発見
1956 年	アンドレ・フレデリック・クルナ ン André Frédéric Cournand	 アメリカ合衆国	心臓カテーテル法、及び循環器系に生ずる病理学上の変化 に関する発見
	ディキンソン・W・リチャーズ Dickinson W. Richards	 アメリカ合衆国	
	ヴェルナー・フォルスマン Werner Forssmann	 ドイツ	
1957 年	ダニエル・ボベット Daniel Bovet	 イタリア (  スイス出 身)	ある種の体内物質の作用を阻害する合成化合物、特に血 管系及び骨格筋に関するものの発見
1958 年	ジョージ・ウェルズ・ビードル George Wells Beadle	 アメリカ合衆国	遺伝子が厳密に化学過程の調節によって働くことの発見
	エドワード・ローリー・タータム Edward Lawrie Tatum	 アメリカ合衆国	
	ジョシュア・レダーバーク Joshua Lederberg	 アメリカ合衆国	遺伝子組換えおよび細菌の遺伝物質に関する発見
1959 年	セベロ・オチョア Severo Ochoa de Albornoz	 アメリカ合衆国 (  スペ イン出身)	リボ核酸およびデオキシリボ核酸の生合成機構の発見
	アーサー・コーンバーク Arthur Kornberg	 アメリカ合衆国	
1960 年	フランク・マクファーレン・パー ネット Frank Macfarlane Burnet	 オーストラリア	後天的免疫寛容の発見
	ピーター・メダワー Peter Medawar	 イギリス (  ブラジル 出身、両親は  レバノンと  イギリス)	
1961 年	ゲオルク・フォン・ベーケーシ Georg von Békésy	 アメリカ合衆国 (  ハ ンガリー出身)	内耳蝸牛における刺激の物理的機構の発見
1962 年	ジェームズ・ワトソン James Dewey Watson	 アメリカ合衆国	核酸の分子構造および生体の情報伝達におけるその重要性 の発見
	フランシス・クリック Francis Harry Compton Crick	 イギリス	
	モーリス・ウィルキンス Maurice Hugh Frederick Wilkins	 イギリス/  ニュージ ーランド	
1963 年	ジョン・カリュウ・エクレス John Carew Eccles	 オーストラリア	神経細胞膜の末梢および中枢部における興奮と抑制に関す るイオン機構の発見
	アラン・ロイド・ホジキン Alan Lloyd Hodgkin	 イギリス	
	アンドリュウ・フィールドィン グ・ハクスリー Andrew Huxley	 イギリス	
1964 年	コンラート・ブロッホ Konrad Emil Bloch	 アメリカ合衆国 (  ド イツ出身)	コレステロールおよび脂肪酸代謝の機構と調節に関する発 見
	フェオドル・リュネン Feodor Felix Konrad Lynen	 ドイツ	
1965 年	フランソワ・ジャコブ François Jacob	 フランス	酵素およびウイルス合成の遺伝的制御に関する発見
	アンドレ・ルウォフ Andre Michael Lwoff	 フランス	
	ジャック・モノー Jacques Monod	 フランス	
1966 年	ペイトン・ラウス Peyton Rous	 アメリカ合衆国	発癌性ウイルスの発見

	チャールズ・ブレントン・ハギンズ Charles B. Huggins	 アメリカ合衆国 (  カナダ出身)	前立腺がんのホルモン療法に関する発見
1967年	ラグナー・グラニト Ragnar Granit	 スウェーデン (  フィンランド出身)	視覚の化学的、生理学的基礎過程に関する発見
	ハルダン・ケファー・ハートライン Haldan Keff er Hartline	 アメリカ合衆国	
	ジョージ・ワルド George Wald	 アメリカ合衆国	
1968年	ロバート・W・ホリー Robert W. Holley	 アメリカ合衆国	遺伝暗号とそのタンパク質合成における機能の解明
	ハー・ゴビンド・コラナ Har Gobind Khorana	 アメリカ合衆国 (  インド (現  パキスタン) 出身)	
	マーシャル・ニーレンバーグ Marshall Warren Nirenberg	 アメリカ合衆国	
1969年	マックス・デルブリュック Max Delbrück	 アメリカ合衆国 (  ドイツ出身)	ウイルスの複製機構と遺伝的構造に関する発見
	アルフレッド・ハーシー Alfred Hershey	 アメリカ合衆国	
	サルバドール・エドワード・ルリア Salvador Luria	 アメリカ合衆国 (  イタリア出身)	
1970年	ベルンハルト・カッツ Bernard Katz	 イギリス (  ドイツ出身)	神経末梢部における液性伝達物質、およびその貯蔵、解離、不活化の機構に関する発見
	ウルフ・スファンテ・フォン・オイラー Ulf von Euler	 スウェーデン	
	ジュリアス・アクセルロッド Julius Axelrod	 アメリカ合衆国	
1971年	エール・サザランド Earl Wilbur Sutherland Jr.	 アメリカ合衆国	ホルモンの作用機作に関する発見
1972年	ジェラルド・モーリス・エデルマン Gerald Edelman	 アメリカ合衆国	抗体の化学構造に関する発見
	ロドニー・ロバート・ポーター Rodney Robert Porter	 イギリス	
1973年	コンラート・ローレンツ Konrad Lorenz	 オーストリア	個体的および社会的行動様式の組織化と誘発に関する発見
	カール・フォン・フリッシュ Karl von Frisch	 ドイツ (  オーストリア出身)	
	ニコ・ティンバーゲン Nikolaas Tinbergen	 イギリス (  オランダ出身)	
1974年	アルベルト・クラウデ Albert Claude	 ベルギー	細胞の構造的機能的組織に関する発見
	クリスチャン・ド・デューブ Christian de Duve	 ベルギー (  イギリス出身)	
	ジョージ・エミール・パラデー George Emil Palade	 アメリカ合衆国 (  ルーマニア出身)	
1975年	レナト・ドゥルベッコ Renato Dulbecco	 アメリカ合衆国 (  イタリア出身)	腫瘍ウイルスと細胞内の遺伝物質との相互作用に関する発見
	ハワード・マーティン・テミン Howard Martin Temin	 アメリカ合衆国	
	デビッド・ボルティモア David Baltimore	 アメリカ合衆国	
1976年	バルチ・ブランバーグ Baruch S. Blumberg	 アメリカ合衆国	感染症の起源および伝播の新たな機構に関する発見

	ダニエル・カールトン・ガジュセック Daniel Carleton Gajdusek	 アメリカ合衆国	
1977年	ロジェ・ギルマン Roger Guillemin	 アメリカ合衆国 (  フランス出身)	脳のペプチドホルモン生産に関する発見
	アンドリュウ・シャリー Andrew Schally	 アメリカ合衆国 (  ポーランド出身)	
	ロサリン・ヤロー Rosalyn Sussman Yalow	 アメリカ合衆国	ペプチドホルモンのラジオイムノアッセイ法の開発
1978年	ダニエル・ネーサンス Daniel Nathans	 アメリカ合衆国	制限酵素の発見と分子遺伝学への応用
	ハミルトン・スミス Hamilton O. Smith	 アメリカ合衆国	
	ヴェルナー・アーバー Werner Arber	 スイス	
1979年	ゴッドフリー・ハウズフィールド Godfrey Hounsfield	 イギリス	コンピュータ断層撮影の開発
	アラン・コーマック Allan McLeod Cormack	 アメリカ合衆国 (  南アフリカ共和国出身)	
1980年	バルフ・ベナセラフ Baruj Benacerraf	 アメリカ合衆国	細胞表面において免疫反応を調節する、遺伝的に決定された構造に関する発見
	ジャン・ドーセ Jean Dausset	 フランス	
	ジョージ・スネル George Snell	 アメリカ合衆国	
1981年	ロジャー・スペリー Roger Wolcott Sperry	 アメリカ合衆国	大脳半球の機能分化に関する発見
	デイヴィッド・ヒューベル David H. Hubel	 アメリカ合衆国 (  カナダ出身)	視覚系における情報処理に関する発見
	トルステン・ウィーセル Torsten Wiesel	 スウェーデン	
1982年	スネ・ベリストローム Sune Bergström	 スウェーデン	プロスタグランジンおよびそれに関わる生物学的活性物質の発見
	ベクト・サミュエルソン Bengt I. Samuelsson	 スウェーデン	
	ジョン・ベーン John Robert Vane	 イギリス	
1983年	バーバラ・マクリントック Barbara McClintock	 アメリカ合衆国	可動遺伝因子の発見
1984年	ニールス・イェルネ Niels Kaj Jerne	 デンマーク (  イギリス出身)	免疫系の発達と制御における選択性に関する諸理論、およびモノクローナル抗体の作成原理の発見
	ジョルジュ・J・F・ケーラー Georges J. F. Köhler	 ドイツ	
	セーサル・ミルスタイン César Milstein	 アルゼンチン/  イギリス	
1985年	マイケル・ブラウン Michael S. Brown	 アメリカ合衆国	コレステロール代謝の調節に関する発見
	ヨセフ・ゴールドスタイン Joseph L. Goldstein	 アメリカ合衆国	
1986年	リータ・レーヴィ=モンタルチーニ Rita Levi-Montalcini	 イタリア/  アメリカ合衆国	成長因子の発見
	スタンリー・コーエン Stanley Cohen	 アメリカ合衆国	
1987年	利根川進 Susumu Tonegawa	 日本	抗体の多様性に関する遺伝的原理の発見
1988年	ジェームス・ブラック James W. Black	 イギリス	薬物療法における重要な原理の発見

	ガートルード・エリオン Gertrude B. Elion	 アメリカ合衆国	
	ジョージ・ヒッチングス George H. Hitchings	 アメリカ合衆国	
1989年	J・マイケル・ビショップ J. Michael Bishop	 アメリカ合衆国	ガン遺伝子のレトロウイルスが細胞起源であることの発見
	ハロルド・ヴァーマス Harold E. Varmus	 アメリカ合衆国	
1990年	ヨセフ・マレー Joseph E. Murray	 アメリカ合衆国	ヒトの疾患治療における臓器および細胞移植に関する発見
	エドワード・ドナル・トーマス E. Donnall Thomas	 アメリカ合衆国	
1991年	エルヴィン・ネアー Erwin Neher	 ドイツ	細胞における単独のイオンチャネルの機能に関する発見
	ベルト・ザクマン Bert Sakmann	 ドイツ	
1992年	エドモンド・フィッシャー Edmond H. Fischer	 スイス、  アメリカ合衆国	生体制御機構としての可逆的タンパク質リン酸化の発見
	エドヴィン・クレープス Edwin G. Krebs	 アメリカ合衆国	
1993年	リチャード・ロバーツ Richard J. Roberts	 イギリス	分断された遺伝子の発見
	フィリップ・シャープ Phillip A. Sharp	 アメリカ合衆国	
1994年	アルフレッド・ギルマン Alfred G. Gilman	 アメリカ合衆国	Gタンパク質およびそれらの細胞内情報伝達における役割の発見
	マーティン・ロッドベル Martin Rodbell	 アメリカ合衆国	
1995年	エドワード・ルイス Edward B. Lewis	 アメリカ合衆国	初期胚発生における遺伝的制御に関する発見
	クリスティアーネ・ニュスライン＝フォルハルト Christiane Nüsslein-Volhard	 ドイツ	
	エリック・ヴィーシャウス Eric F. Wieschaus	 アメリカ合衆国	
1996年	ピーター・ドハーティ Peter C. Doherty	 オーストラリア	細胞性免疫防御の特異性に関する研究
	ロルフ・ツィンカーナーゲル Rolf M. Zinkernagel	 スイス	
1997年	スタンリー・B・プルシナー Stanley B. Prusiner	 アメリカ合衆国	プリオン - 感染症の新たな生物学的原理 - の発見
1998年	ロバート・ファーチゴット Robert F. Furchgott	 アメリカ合衆国	循環器系における情報伝達物質としての一酸化窒素に関する発見
	ルイ・イグナロ Louis J. Ignarro	 アメリカ合衆国	
	フェリド・ムラド Ferid Murad	 アメリカ合衆国	
1999年	ギュンター・ブローベル Günter Blobel	 アメリカ合衆国	タンパク質が細胞内での輸送と局在化を司る信号を内在していることの発見
2000年	アービド・カールソン Arvid Carlsson	 スウェーデン	神経系における情報伝達に関する発見
	ポール・グリーンガード Paul Greengard	 アメリカ合衆国	
	エリック・カンデル Eric R. Kandel	 アメリカ合衆国	
2001年	リーランド・ハートウェル Leland H. Hartwell	 アメリカ合衆国	細胞周期における主要な制御因子の発見
	ティム・ハント Tim Hunt	 イギリス	

	ポール・ナース Paul M. Nurse	<span><span><span></span></span><span> </span></span> イギリス	
2002年	シドニー・ブレナー Sydney Brenner	<span><span><span></span></span><span> </span></span> イギリス	「器官発生とプログラム細胞死の遺伝制御」に関する発見
	ロバート・ホロビッツ H. Robert Horvitz	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	
	ジョン・サルストン John E. Sulston	<span><span><span></span></span><span> </span></span> イギリス	
2003年	ポール・ラウターバー Paul Lauterbur	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	核磁気共鳴画像法に関する発見
	ピーター・マンズフィールド Peter Mansfield	<span><span><span></span></span><span> </span></span> イギリス	
2004年	リチャード・アクセル Richard Axel	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	におい受容体および嗅覚系組織の発見
	リンダ・バック Linda B. Buck	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	
2005年	バリー・マーシャル Barry Marshall	<span><span><span></span></span><span> </span></span> オーストラリア	ヘリコバクター・ピロリ菌およびその胃炎や胃かいようにおける役割の発見
	ロビン・ウォレン Robin Warren	<span><span><span></span></span><span> </span></span> オーストラリア	
2006年	アンドリュー・ファイアー Andrew Fire	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	RNA干渉-二重鎖RNAによる遺伝子サイレンシング-の発見
	クレイグ・メロー Craig Mello	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	
2007年	マリオ・カベッキ Mario Capecchi	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	胚性幹細胞を用いての、マウスへの特異的な遺伝子改変の導入のための諸発見
	マーティン・エヴァンズ Martin Evans	<span><span><span></span></span><span> </span></span> イギリス	
	オリヴァー・スミティーズ Oliver Smithies	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	
2008年	ハラルド・ツァ・ハウゼン Harald zur Hausen	<span><span><span></span></span><span> </span></span> ドイツ	子宮頸癌を引き起こすヒトパピローマウイルスの発見
	フランソワーズ・バレー＝シヌシ Françoise Barré-Sinoussi	<span><span><span></span></span><span> </span></span> フランス	ヒト免疫不全ウイルスの発見
	リュック・モンタニエ Luc Montagnier	<span><span><span></span></span><span> </span></span> フランス	
2009年	エリザベス・H・ブラックバーン Elizabeth H. Blackburn	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国 ( <span><span><span></span></span><span> </span></span> オーストラリア出身)	テロメアとテロメラーゼ酵素が染色体を保護する機序の発見
	キャロル・W・グライダー Carol W. Greider	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国	
	ジャック・W・ショスタク Jack W. Szostak	<span><span><span></span></span><span> </span></span> アメリカ合衆国 ( <span><span><span></span></span><span> </span></span> イギリス出身)	

## 関連項目 [編集]

- コッホ賞
- ラスカー賞
- ガードナー国際賞
- ルイザ・グロス・ホロウィッツ賞
- ウルフ賞医学部門
- クラフォード賞
- 慶應医学賞



ウィキメディア・コモンズには、ノーベル生理学・医学賞受賞者に関連するカテゴリがあります。

## 外部リンク [編集]

- ノーベル生理学・医学賞 (公式) 🔗
  - 受賞者の一覧 (公式) 🔗
- ルイザ・グロス・ホロウィッツ賞公式サイト 🔗

表・話・編・歴

ノーベル賞

[隠す]

部門	物理学賞 - 化学賞 - 生理学・医学賞 - 文学賞 - 平和賞 - 経済学賞 <sup>[注]</sup>
受賞者一覧	部門別・年代別 - 国別 (日本人 - ハンガリー人)
選考	スウェーデン科学アカデミー - カロリンスカ研究所 (生理学・医学賞) - ノルウェー・ノーベル委員会 (平和賞) - スウェーデン・アカデミー (文学賞)
	<a href="#">ノーベル財団-ノーベル賞公式サイト</a>  (英語)

カテゴリ: [ノーベル賞](#) | [生理学](#) | [医学の賞](#) | [生物学の賞](#) | [生物学史](#)